

かわさき市政カレンダー

(2019年1月～12月)

1月

富士通フロンティアーズがライスボウル3連覇

アメリカンフットボール日本選手権「ライスボウル」において、社会人代表の富士通フロンティアーズが学生王者の関西学院大学を下し、3年連続4回目の日本一に輝いた。

横浜市営地下鉄3号線の新百合ヶ丘駅延伸が決定

湘南台駅とあざみ野駅をつなぐ、横浜市営地下鉄ブルーラインの新百合ヶ丘駅までの延伸が事業化される。川崎市北部と横浜市、多摩地域を結ぶ新たな鉄道ネットワークの形成や新横浜駅へのアクセス機能の強化を図るため、令和12(2030)年度の開業を目指して横浜市と連携して整備を進めていく。

2月

新・動物愛護センター 「ANIMAMALL かわさき」が 中原区にオープン

中原区に、動物愛護センター「ANIMAMALLかわさき」がオープンした。動物愛護団体やボランティア、獣医師会など多くの人たちと協力しながら、「いのちを『まなぶ』『つなぐ』『まもる』」をテーマに、命の大切さを学ぶイベント、動物の保護やケア、新たな飼い主につなぐ譲渡会などを行っている。

川崎フロンターレが FUJI XEROX SUPERCUP 2019で初優勝

Jリーグのシーズン開始を彩る「FUJI XEROX SUPER CUP 2019」で、川崎フロンターレが浦和レッズを1-0で破り、初優勝を飾った。

小田急線登戸駅が ドラえもんキャラクターで装飾

「藤子・F・不二雄ミュージアム」の最寄り駅である小田急線登戸駅が、「ドラえもんたちのいる すこしふしぎな駅」をコンセプトに、「ドラえもん」のまんがの世界に入り込んだような空間に装飾された。ドラえもんの等身大フィギュアやどこでもドア型のデジタルサイネージなど、「ワクワク感」を感じられる駅となっている。

3月

京急大師線の産業道路駅が地下駅に

京急大師線の小島新田～東門前駅間の約1kmが地下化され、産業道路駅が地下駅として再オープンした。交通量の多い産業道路を交差する踏切を含め、3か所の踏切が解消され、渋滞緩和等が期待される。また、産業道路駅は、駅近くで多摩川に架かる大師橋の名称を取り入れ、令和2(2020)年3月に大師橋駅に名称変更される。

起業家を支援する 「Kawasaki-NEDO Innovation Center(K-NIC)」、 川崎駅前にオープン

川崎市は、NEDO(国立研究開発法人新エネルギー・産業技術開発機構)と共同で、起業にチャレンジする方を支援する拠点を、音楽ホールのあるミュージア川崎隣接のセントラルタワー内に開設した。

4月

武蔵小杉に小杉小学校が開校。 児童数373名でスタート

武蔵小杉駅周辺の人口急増を受け、川崎市としては11年ぶりとなる新設小学校として、JR武蔵小杉駅そばに、川崎市立小杉小学校が児童数373名でスタートした。

川崎市の1人1日当たりのごみ排出量が 政令指定都市最少に

資源物の分別収集の推進や、市民・事業者の長年にわたる日々のごみ減量の取り組みにより、平成29年度の1人1日当たりのごみ排出量(834g)が、政令指定都市の中で最も少ないという結果が発表された。

5月

川崎市の人口が政令指定都市第6位に

大正13年の市制移行時に約5万人、政令指定市移行後の昭和48年に100万人だった川崎市の人口は、5月1日に152万6,630人となり、神戸市を抜いて政令指定都市20都市中第6位になった。

川崎市の人口：約5万人(大正13年) → 100万人(昭和48年) → 150万人(平成29年)

多摩区登戸で刺傷事件が発生

多摩区登戸新町において通学中の児童ら多数の方が被害に遭う刺傷事件が発生した。川崎市では、子どもたちが安全で安心して暮らせる地域社会を実現するために「地域」「警察」「行政」で情報を共有化し、連携を図った。

7月

川崎市の高いポテンシャルなどが国から評価され、「SDGs未来都市」に選定

さまざまな課題を市民や事業者等と解決してきた歴史と持続可能な社会を実現するための取り組みが国から評価され、「SDGs未来都市」に選定された。SDGsの達成に向けて、市民、企業、団体等の多様なステークホルダーと連携・協働し、「成長と成熟の調和による持続可能な最幸のまちかわさき」をめざした取り組みを推進する。

川崎ブレイブサンダースの篠山選手、ファジーカス選手が、バスケットボール日本代表に選出

「FIBAバスケットボールワールドカップ2019」において、川崎ブレイブサンダースの篠山竜青、ニック・ファジーカスの両選手が代表メンバーとして選出され、活躍した。また、9月から、ホームタウンスポーツ推進の一環として、市バスと地元のプロバスケットボールチームである川崎ブレイブサンダースとのコラボレーションにより、川崎ブレイブサンダースのラッピングバスを運行している。

8月

桐光学園が全国高校総体男子サッカーで市内高校として初優勝

川崎市内の高校としては初めて、全国高校総体男子サッカーで桐光学園が優勝を飾った。同高は、冬の全国高等学校サッカー選手権も含め、男子サッカーでは初の全国制覇となる。

川崎生まれのハーブペッパー「香辛子」を使った商品が続々発表

川崎市内にある味の素(株)の研究所が開発し、29軒の川崎市内農家が生産した「川崎生まれのハーブペッパー「香辛子」の販売が開始された。フルーティーな香りで辛みが弱く体に優しく生で食べられる香辛子を使用した市内企業による新商品の販売も開始された。

9月

川崎駅東口広場にストリートピアノが登場！

川崎駅東口駅前広場において、「広告物社会実験」と「社会実験フェス」を開催した。川崎のイメージアップにつながる情報を発信する広告塔の設置や、気に入った本と自分の本を交換できる図書スペース、誰でも自由に演奏できるストリートピアノ、キッチンカーやソファ・ベンチなどが設置され、多くの人たちでにぎわった。

地域の保育と子育ての拠点となる

「川崎区保育・子育て総合支援センター」がオープン

保育所と地域子育て支援センターが1つの建物に入り、新たな機能を持つ「保育・子育て総合支援センター」が9月17日に川崎区に開設された。新たに一時預かり保育等を開始し、保育士・栄養士・看護師による子育て家庭への支援や保育関係施設との連携・人材育成など、「保育と子育ての一体的な事業推進拠点」を目指し取り組みを進めている。

10月

令和元年東日本台風により川崎市に大きな被害

過去最大級の勢力で日本列島に上陸し、各地に大きな爪痕を残した令和元年東日本台風により、川崎市にも大きな被害があった。被災された市民の皆様が一日も早く日常生活に戻れるよう、引き続き取り組んでいく。

川崎フロンターレが激闘を制し

JリーグYBCルヴァンカップで悲願の初優勝

2019JリーグYBCルヴァンカップで、川崎フロンターレが悲願の初優勝を飾った。フロンターレにとって2年ぶり5回目となる決勝は、北海道コンサドーレ札幌との対戦。試合は、両者一歩も譲らないまま延長戦でも決着がつかず、PK戦の末、3-3 (PK5-4) でフロンターレが劇的な勝利を収め、初優勝をつかみ取った。

12月

「川崎市差別のない人権尊重のまちづくり条例」が制定

全ての市民が不当な差別を受けることなく、個人として尊重され、生き生きと暮らすことができる人権尊重のまちづくりを推進していくため、「川崎市差別のない人権尊重のまちづくり条例」が制定された。